

平成 28 年度 環境省・林野庁・北海道事業の予定

平成 28 年度 主な調査等の予定

No.	実施者	事業	事業費	概要
1	環境省	利用の適正化	1,200 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議等、各種会議の運営を実施する。 ・各地域における利用状況調査及び利用適正化に関するモニタリング調査を実施する。
2	環境省	羅臼岳、知床連山登山道の維持管理	300 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・羅臼岳・硫黄山・知床連山の登山道のササ刈り、ガイドロープ・迷い込み防止ロープの設置、土嚢設置等を実施する。
3	環境省	ウトロ・羅臼海域におけるモニタリング調査	500 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ウトロ・羅臼海域において海鳥の生息状況調査及び海水温調査を実施する。
4	環境省	ヒグマ保護管理方針に基づく管理	600 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒグマ出没状況の把握や出没に関する情報提供・利用者に対する普及啓発活動を実施する。
5	環境省	科学委員会等の運営	2,500 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・知床世界自然遺産地域科学委員会、エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ、ヒグマ保護管理方針検討会議、日露隣接地域生態系保全協力プログラム推進委員会の運営を実施する。 ・年次報告書（知床白書）の作成を実施する。 ・ウェブサイト「知床データセンター」の運営を実施する。
6	環境省	エゾシカ対策業務	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系モニタリングとして、植生調査、エゾシカ航空カウント調査、エゾシカ行動追跡調査を実施する。 ・個体数調整として、幌別-岩尾別間、ルサー相泊間、知床岬での囲いわな、流し猟式シャープシューティング等による捕獲を実施する。
7	林野庁	知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業		今年度は実施なし（隔年で実施のため）。

8	林野庁	オショロコマ生息等調査	900万円	遺産地域及び遺産隣接地域の37河川で水温調査を実施するとともに、8河川でオショロコマの生息数及び外来魚等の調査を実施する。また、河川工作物アドバイザー会議を運営する。
9	林野庁	エゾシカ採食圧調査	600万円	遺産地域及び遺産隣接地域の13箇所において、エゾシカの採食状況、及び土壌流出状況の調査を実施する。
10	林野庁	世界遺産隣接地域エゾシカ捕獲事業 (11箇所程度) ※H28.8現在	未定	世界遺産隣接地域において囲いワナ、モバイルカリング等によるエゾシカ生体捕獲を実施する。
11	林野庁	希少野生動植物保護管理業務	130万円	自然保護管理員を配置して巡視を行うことにより、シマフクロウの保護及び環境の保全等を図る。
12	北海道	海生哺乳類生息状況調査(長期モニタリング調査)	299万円	・知床半島沿岸及びその周辺海域における海棲哺乳類の生息状況を把握するための調査を実施する。
13	北海道	羅臼岳登山における携帯トイレ利用促進啓発用リーフレットの作成・配付	20万円	・携帯トイレの利用を促すため、携帯トイレの販売場所やトイレブース・回収場所を記載したリーフレットを作成。遺産関係施設に配置するとともに、空港、道の駅、バス会社、レンタカー会社等の交通機関や登山ツアー主催会社、登山用品店に配付し周知を依頼した。
14	北海道	カムイワッカへの行き方啓発用リーフレットの作成・配付	22万円	・マイカー規制やシャトルバス利用期間の設定など、カムイワッカ湯の滝や知床五湖へのアクセス方法の周知や、渋滞緩和のためのシャトルバス利用を促すため、リーフレットを作成。遺産関係施設に配置するとともに、レンタカー、バス、タクシーなどの交通機関、ホテル、観光案内所などの観光関連施設に配付し周知を依頼した。

平成28年度 主な施設整備の予定

No	実施者	名称	事業費	概要
1	環境省	羅臼岳登山線歩道案内標識改修工事	100万円	・羅臼岳登山線道路(歩道)の案内標識の改修を実施する。
2	環境省	知床五湖地上歩道再整備基本計画策定	500万円	・知床五湖地上歩道の現地調査を行い、歩道の再整備基本計画を実施する。